

世界基準の
プレス技術の進化が
ここに。

出展の
ご案内

JAPAN METAL STAMPING TECHNOLOGY EXHIBITION

金属プレス加工技術展

2019年4月17日(水) → 20日(土) 2019

東京ビッグサイト 青海展示棟 10:00 → 17:00

〒135-0064 東京都江東区青海1丁目2番33他

※ただし最終日は16:00まで

<http://intermold.jp> ■主催／一般社団法人日本金属プレス工業協会 ■運営／インターモールド振興会

併催展

JAPAN INTERNATIONAL DIE & MOLD MANUFACTURING TECHNOLOGY EXHIBITION
INTERMOLD 2019 金型展2019

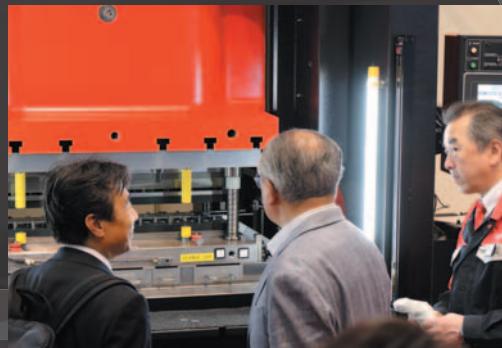
■主催／一般社団法人日本金型工業会

金型・金属プレス加工技術に関する専門見本市

世界基準のものづくり

JAPAN METAL STAMPING TECHNOLOGY EXHIBITION
金属プレス加工技術展
2019

塑性加工のプロが集う専門見本市に是非ご参加ください。



金型加工技術の専門見本市「INTERMOLD／金型展」との同時開催により、金型の製造から成形[プレス加工]の一貫したソリューションを提案します。

出展対象

- プレス加工機
(サーボプレス、機械プレス、油圧プレス、トランスファープレス、ファインブランкиング、深絞りプレス、粉末成形プレス、冷・温・熱間鍛造プレスなど)
- 周辺機器
(トランスファーシステム、アンコイラー、レベラー、フィーダー、安全装置、その他関連機器)
- ロボット・自動化システム
- プレス金型・プレス金型部品
- 各種金属プレス加工品・成形サンプル
- プレス加工事業者による技術PR

日本の製造業を支えるサポートインダストリー
『ものづくり基盤技術』として欠かすことのできない
金型と金属プレス加工技術を中心に、最先端の素形材産業の情報を発信します。

金型・金属プレス企業の競争力強化ソリューションを提案

素形材産業《金型・金属プレス加工》の専門見本市での、
具体的なソリューション提案により、目的意識の高い来場者との積極的な商談が期待できます。

中小企業への具体的な設備投資提案

- ・ハイテン材、アルミ合金材などの難加工技術の導入
- ・CFRP／樹脂部品との複合加工・一体成形
- ・高機能部品・自動車航空機部品の軽量化
- ・異業種・異分野への展開
- ・ロボット技術による自動化
- ・海外市場への展開・進出への支援
- ・人材育成・事業継承・产学連携

中小企業・小規模事業者への高付加価値技術の提案

- ・鍛圧・プレス加工機
- ・周辺機器、自動化装置、安全装置
- ・メンテナンス・サービス
- ・板鍛造、冷間鍛造技術、精密せん断加工
　　ファインプランキング
- ・複合材部品、接合技術
- ・IoTによる稼働管理、生産管理システム
- ・高精度形状・高付加価値形状の加工技術
- ・多様な素材への対応、新素材の実用化
- ・高強度材料
- ・軽量・非鉄金属材料
- ・自動車部品の軽量化・EV化への対応
- ・衝突安全性向上を実現する部品加工
- ・高度技術の転用、実用化、商用化
- ・新加工技術による高機能化
- ・ハイテン材、薄肉化、軽量化

主な来場者

- 自動車・自動車部品関連、半導体・電子機器関連、
家電・通信機器関連、食品・医療・バイオ関連、商社関連、
航空・宇宙関連、文具、玩具、建設・建材、研究・教育、
公社・官公庁
- 金型メーカー、成形加工メーカー、金型・成形兼業、
部品加工メーカー、商社

- プレス金型・鍛造金型・鋳造金型・ダイカスト金型・ガラス金型
　　プラスチック金型・ゴム金型・ブロー金型・粉末冶金金型ほか
- 経営・経営企画、購買、営業・販売、研究・開発、設計、製造
　　生産技術、生産管理、品質管理、情報システム、
　　マーケティング、総務・経理

JAPAN METAL STAMPING TECHNOLOGY EXHIBITION
金属プレス加工技術展
素形材産業の専門見本市 2019

素形材産業・塑性加工技術が一堂に会する見本市となり、
関係者とのビジネス交流の場を提供します。

金型加工技術展 INTERMOLD
金型展を併催

素形材産業を中心に関連団体の協力企画も併催し、自動車・航空機、電気・電子機器などの大手メーカー・ティア1などの製造部門関係者の来場誘致を行い、あたらしいビジネスマッチングを創出します。

高品質な金型と高付加価値のある量産技術

設計・試作、加工、仕上げ、成形、メンテナンスなど一連の工程を集約させた展示

- ・試作・デザイン・解析&3D プリンティングフェア
- ・精密仕上げ加工&バリ取り・研磨加工技術フェア
- ・熱処理・表面処理フェア 洗浄・補修&メンテナンス

素形材関連団体の特別協力企画

- ・鍛造加工技術フェア
- ・自動車部品製造技術フェア
- ・航空機部品製造技術フェア

次世代製造技術の提案

出展者への提供サービス

事務局では出展効果を高める為に、各種サービスを強化しています。

1 出展企業の紹介を開催前から当日までバックアップ

- 公式ガイドブックへの会社情報・出展内容紹介掲載
- 公式サイトへの会社情報・出展内容紹介掲載
- 展示会案内リーフレットへの社名や小間位置掲載

2 来場動員ツールを作製し希望数を無償提供

- 展示会案内リーフレット（招待券機能付き）の無償提供
 - 招待券ハガキの無償提供
- ※但し、事前申し込み以降の追加希望は在庫限りの対応となります。

3 重要顧客へのサービス提供

- VIP 来場者登録
- VIP ラウンジの使用

4 業界紙誌やSNSなどを通じた情報発信

- プレスリリースでの情報発信
- 関連業界紙誌での広告企画
- メール配信での情報発信
- SNS での出展内容紹介
- 海外アライアンス展示会での情報発信

5 展示会場内に設置するセミナー会場でのプレゼンテーション

- テクニカル・ワークショップ開講（有料）
- オープンセミナー開講（有料）

6 出展者スタッフへのドリンクサービス

- 開催期間中、出展企業スタッフへ毎朝ドリンクを提供



基調講演・特別講演・各種セミナーの開催

基調講演・特別講演会

前回(2018年4月)の開催内容

基調講演

『ダイハツ流コンパクトカーづくりの本質と進化(深化) ～経営者として学んだこと、これからへの想い～』

ダイハツ工業(株) 取締役会長 三井 正則 氏

金属プレス加工技術展 特別講演

主催:(一社)日本金属プレス工業協会

『自動車生産の最新事情と将来を探る』

企画・総合司会:東京大学 名誉教授 工学博士 中川 威雄 氏

『電動化と知能化が拓く インテリジェントモビリティの時代』

日産自動車(株)フェロー 久村 春芳 氏

『環境保全・安全・快適さを追求する自動車を支える 車体用材料とその成形技術』

(元)理化学研究所 工学博士 林 央 氏

『注目集まるインド自動車産業の最新動向』

東京大学 大学院 経済学研究科 ものづくり経営研究センター
特任研究員 伊藤 洋 氏

自動車部品製造技術フェア 特別講演会

『自動車技術革新による産業への影響』

(一社)日本自動車部品工業会 技術担当顧問 松島 正秀 氏

試作・デザイン・解析&3Dプリント技術フェア 特別講演

特別協力:オートデスク(株)

『開発・製造プロセスに変革をもたらすAIおよび 最新技術動向と活用事例』

オートデスク(株) デジタルマニュファクチャーリンググループ
アジアパシフィック担当ディレクター 辻野 浩司 氏

(一社)日本鍛造協会 特別セミナー

『パワートレイン商品の将来動向と、期待される技術 (Game Changeを起こす生産技術)』

日産自動車(株) パワートレイン生産技術本部 パワートレイン技術企画部
パワートレイン新商品工法開発 エキスパートリーダー 塩飽 紀之 氏

刀鍛冶プレゼンテーション『日本刀に生きる』

刀工 高見 太郎 國一 氏

航空機部品製造技術フェア 特別セミナー

主催:まんてんプロジェクト

『民間航空機産業の現状と今後の展開』

川崎重工業(株) 社友 榊 達朗 氏

『まんてんプロジェクトの取り組みと今後の展開』

まんてんプロジェクト 専務理事 愛 恭輔 氏

精密仕上げ加工&バリ取り・研磨加工技術フェア 特別セミナー

『マシニングセンタでのバリ取り・研磨の自動化』

バリ取り大学 理事長 (株)ジーベックテクノロジー 代表取締役社長

住吉 康彦 氏

『バリ取り・研磨 実践公開討論会』

(株)不二製作所 開発部 主任 内海 裕介 氏

(株)スギノマシン 精密機器事業本部 生産統括部 応用開発部1課 課長 光江 豊彰 氏

メイホー(株) 生産技術室 室長 中西 元気 氏

(株)ジーベックテクノロジー 営業部 セールスマネージャー 赤尾 友和 氏

(一社)日本工作機械工業会 特別講演会

『工作機械ユーザ向けメンテナンス講習会』

東京理科大学理工学部非常勤講師

(一社)日本工作機械工業会 サービス部会長 小島 輝一 氏

(一社)日本金型工業会 西部支部4月勉強会

『欧米の金型技術及び金型産業情報』

(株)牧野フライス製作所 マーケティング部 マーケティング課

スペシャリスト 山本 英彦 氏

金型シンポジウム

『関西の金型業界の現状と今後を検証する』

主 催:(一社)日本金型工業会・(一社)金型協会

特別協力:日本工作機械販売協会

総合司会:タイ国裾野産業連合会 顧問 前川 佳徳 氏(元型技術協会 会長)

パネラー:(一社)日本金型工業会 会長 牧野 俊清 氏

(一社)日本金型工業会 副会長 西部支部長 山中 雅仁 氏

(一社)金型協会 代表理事 永田 淳也 氏

日本工作機械販売協会 副会長 赤澤 正道 氏

第10回学生金型グランプリ

『～次世代のモノづくりを担う学生達による金型製造技術の披露～』

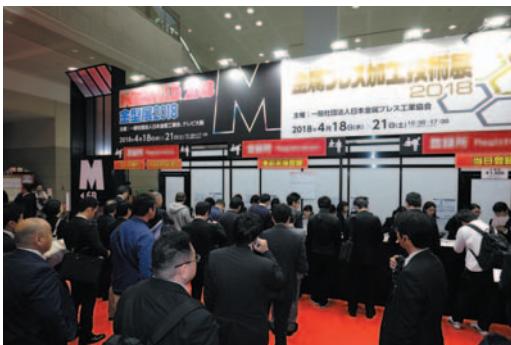
【参加大学】

岩手大学 / 大分県立工科短期大学校 / 大阪工業大学 / 岐阜大学 /

近畿大学 / 大連工業大学 / 山形県立産業技術短期大学校

出題テーマ:プレス型課題【PLATE】

プラスチック型課題【バッグルのアウター/インナー】



2018年 開催実績(大阪)

開催データ

■ 開催概要

※下記概要データは同時開催3展を合計

名 称	金属プレス加工技術展2018
併 催	INTERMOLD 2018(第29回 金型加工技術展) 金型展2018
会 期	2018年4月18日(水)~21日(土) 10:00~17:00(最終日は~16:00)
会 場	インテックス大阪(〒559-0034 大阪市住之江区南港北1-5-102)
出展規模	380社・団体 881小間
来場者数	44,179人

■ 来場者数

■ 金属プレス加工技術展 6,130人	■ インターモールド 31,077人
■ 金型展 6,186人	■ VIP 786人

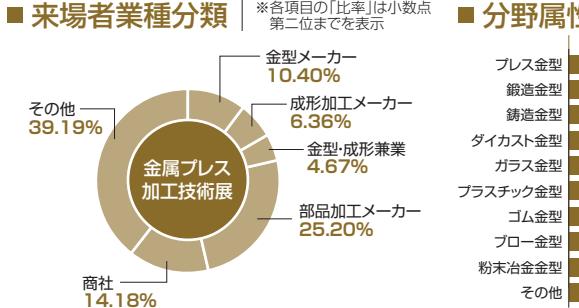
■ 来場者の地域分類

北海道地区	北陸地区	中部地区	中国・四国地区	海外
0.18%	1.66%	12.36%	6.09%	1.70%
0.13%	2.82%	12.12%	9.00%	4.23%
0.17%	3.35%	12.88%	7.03%	3.57%
東北地区	関東地区	近畿地区	九州・沖縄地区	不明
0.36%	6.32%	69.84%	1.48%	0.02%
0.67%	8.33%	60.83%	1.85%	0.03%
0.50%	6.64%	63.63%	2.23%	0.01%

■ 海外来場者の地域 合計1,639人(3展合計)

韓国、中国、台湾、UAE、アメリカ、イタリア、インド、インドネシア、エジプト、オーストリア、ガーナ、カメルーン、シンガポール、スイス、タイ、チェコ、ドイツ、トルコ、ネパール、バキスタン、フィリピン、ベトナム、ペルー、ボルトガル、マレーシア、メキシコ

■ 来場者業種分類



■ 分野属性①



■ 併催企画(一部抜粋)

●基調講演「ダイハツ流コンパクトカーづくりの本質と進化(深化)
~経営者として学んだこと、これからへの想い~」
ダイハツ工業株式会社 取締役会長 三井 正則 氏

●特別講演会『自動車生産の最新事情と将来を探る』
東京大学名誉教授 中川 威雄 氏

●特別講演・セミナー

自動車部品・航空機部品関連セミナー

3Dプリンター関連セミナー

精密仕上げ・バリ取り・研磨加工関連セミナー

協賛団体関連セミナー

●第10回学生金型グランプリ

●主催者特別企画 試作・デザイン・解析&3Dプリントフェア
精密仕上げ加工・バリ取り・研磨加工技術フェア
熱処理・表面処理フェア／鍛造加工技術フェア
自動車部品製造技術フェア／航空機部品製造技術フェア

●テクニカル・ワークショップ 全16セッション開講

●オープンセミナー 全28セッション開講

■ 出展状況

金属・金型材・金型部品等(316社)
工作機械(102社)
工作機械用付属機器など(65社)
切削工具(71社)
機械工具・研磨・砥石関連(62社)
金属加工関連機器(56社)
各種油剤・ケミカル製品など(27社)
プレス加工機(64社)

プレス加工機用周辺機器(29社)

プラスチック加工機械・関連機器(17社)

精密測定機器・光学測定機器(79社)

CAD/CAM/CAEシステムなど(60社)

試作・モデリング・3Dプリンター関連(24社)

精密部品加工技術(208社)

各種団体・研究機関など(13社)

ロボット・自動化(18社)

図書・文献・資料(3社)

■ 分野属性②



出展者一覧

INTERMOLD 2018

ア	INSいわて金型研究会 アプライドデザイン株式会社 株式会社アマダマシンツール 株式会社アルブツール イースタン技研株式会社 株式会社イエスレーザージャパン イスカルジャパン株式会社 株式会社イチグチ 株式会社イワツール インターナショナルダイヤモンド株式会社 ヴェロソフトウェア株式会社 株式会社ウチノ 株式会社AIシリューションズ NKワックス株式会社 エヌティーピーリ株式会社 榎本機工株式会社 株式会社MSTコーポレーション 株式会社エムトピア ORレーザージャパン株式会社 オーエスジー株式会社 オーフィス株式会社 OKK株式会社 オートデスク株式会社 オーブンマイド・テクノロジーズ・ジャパン株式会社 株式会社オカノプラス 株式会社岡本工作機械製作所 カールツアイス株式会社 一般社団法人技術協会 株式会社ササヤマ ダイジェット工業株式会社 株式会社チウキヨー 友鉄工業株式会社 南海鋼材株式会社 株式会社ハヤシ バリステック工業株式会社 株式会社金型新聞社
カ	一般社団法人日本自動車部品工業会 株式会社クリンピー 株式会社関西石油製品販売 株式会社キエンス 株式会社ギア ギタムラ機械株式会社 キヤノン電子株式会社 キヤムス株式会社 極東技研工業株式会社 株式会社空調服 KFカーバイドジャパン株式会社 コダマコーポレーション株式会社 株式会社Cominx(旧社名 大阪工機株式会社) 株式会社サイバーRC 榮製機株式会社 株式会社サンライ精機 三和商工株式会社 株式会社C&Gシステムズ GFマシニングソリューションズ株式会社 株式会社シーシーター 株式会社CGTech 株式会社ジーベックテクノロジー JXTGエリギー株式会社/株式会社ENEOSサンエナジー Jクリエイト株式会社 株式会社JSOL 株式会社ジエービーエム 四変テック株式会社 シュモルツビッケンバッハ・ジャパン株式会社 Deutsche Edelstahlwerke Specialty Steel GmbH & Co. KG FINKL STEEL 株式会社シリバーロイ 株式会社新三協工具 株式会社SCREENホールディングス 株式会社スリーエー産業 西部電機株式会社 株式会社セイコージャパン 双化成株式会社 株式会社ソディック
サ	ソマックス株式会社 ダイジェット工業株式会社 大昭和精機株式会社 タイユ株式会社 多賀電気株式会社 TASKMATE 伊達機械株式会社 株式会社タンガロイ ZOLLER Japan株式会社 DMG森精機株式会社 株式会社データ・デザイン 株式会社テクノア テクノコート株式会社 株式会社東京精密 トクヨウ技術株式会社 株式会社戸田精機 株式会社ナガセインテグレックス 中日本炉工業株式会社 浪速鉄工株式会社 株式会社ナノソフト 日刊工業新聞社 株式会社日研工作所 日工機械株式会社 日進工具株式会社 日東工器株式会社 日本アイティエフ株式会社 日本工業出版株式会社 一般社団法人日本自動車部品工業会 株式会社神戸製作所 三和/ハセキン工業株式会社 株式会社リップスワークス 一般社団法人日本鍛造協会 株式会社イチタン 株式会社大智鍛造所 近江鍛工株式会社 株式会社ゴーシュ サムテック株式会社 東福鍛工株式会社
ナ	浪速鉄工株式会社 北陸工業株式会社 万能工業株式会社 株式会社ニヤシマ 株式会社タルアート 八木工業株式会社 独立行政法人日本貿易振興機構(ジェトロ) ノガジャパン株式会社 ハイワイン株式会社 ハイマージャパン株式会社 株式会社橋本テクニカル工業 フナック株式会社 フロージャパン株式会社 株式会社不二製作所 富士ダイス株式会社 不二電子工業株式会社 株式会社ブースコーポレーション ブルーム・ノボテス株式会社 株式会社ボイントナイン ボダックスジャパン株式会社 マーテック株式会社 マーポス株式会社 株式会社牧野フライス製作所 有限会社九一リューション まんくらプロジェクト 株式会社分野精工 新日本ダイヤモンド工業株式会社 鈴幸商事株式会社 大同工業株式会社 株式会社ナノソフト 株式会社東芝超硬 株式会社クビ製作所 株式会社野製作所 有限会社野島製作所 株式会社阪神メタリックス 株式会社明和工作所 コシロ化学工業株式会社
マ	有限会社オーバーラインジニアリング 株式会社国分精工 新日本ダイヤモンド工業株式会社 鈴幸商事株式会社 大同工業株式会社 株式会社ナノソフト 株式会社東芝超硬 株式会社クビ製作所 株式会社野製作所 有限会社野島製作所 株式会社阪神メタリックス 株式会社明和工作所 コシロ化学工業株式会社

2017年 開催実績(東京)

開催データ

■ 開催概要 | ※下記概要データは同時開催3展を合計

名 称	金属プレス加工技術展2017
併 催	INTERMOLD 2017(第28回 金型加工技術展) 金型展2017
会 期	2017年4月12日(水)～15日(土) 10:00～17:00(最終日は～16:00)
会 場	東京ビッグサイト 東5ホール・東6ホール(〒135-0063 東京都江東区有明3-10-1)
出展規模	461社・団体 891小間
来場者数	45,937人

■ 来場者数	金属プレス加工技術展 5,993人	インターモールド 31,490人
	金型展 7,509人	VIP 945人

■ 来場者の地域分類 | ※各項目の「比率」は小数点第二位までを表示

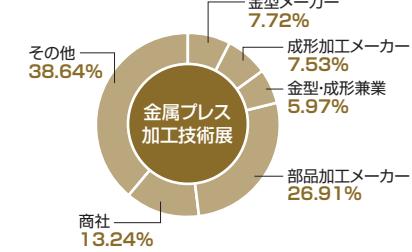
北海道地区	北陸地区	近畿地区	九州・沖縄地区	関東地区
0.19%	3.07%	6.15%	0.91%	66.46%
0.23%	2.94%	6.84%	1.13%	(うち東京都内28.49%)
0.20%	3.12%	5.63%	1.58%	61.91%
東北地区	中部地区	中国・四国地区	海外	(うち東京都内28.87%)
2.39%	16.41%	2.28%	2.14%	65.75%
3.26%	16.89%	1.99%	4.79%	(うち東京都内29.27%)
3.42%	15.61%	1.70%	2.99%	

■海外来場者の地域 合計1,861人(3展合計)

韓国、中国、台湾、UAE、アメリカ、イタリア、インド、インドネシア、エジプト、オーストラリア、オーストリア、ガーナ、カメルーン、シンガポール、イスラ、タイ、チェコ、ドイツ、トルコ、ネパール、バキスタン、フィリピン、ベトナム、ペルー、ボリビア、マレーシア、メキシコ

■ 来場者業種分類 | ※各項目の「比率」は小数点第二位までを表示

命型六：中



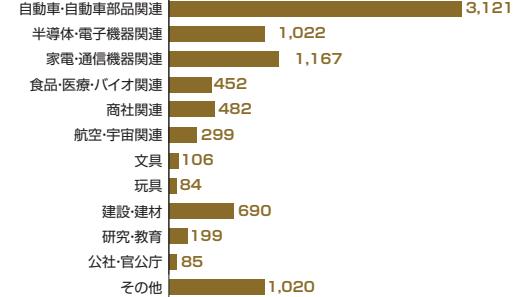
■ 分野属性①

第十一章 量子複數音符行步



■ 分野属性②

卷之三



出展者一覧

INTERMOLD 2017

ア 株式会社HHL Iorbond Japan
INSUにて金融研究会
株式会社旭ブレジション
アーバンデザインデザイン株式会社
株式会社アマダマシングル
株式会社アルブツール
イースタン研修株式会社
株式会社イムチク
株式会社イタツール
株式会社日本開業所
インターナショナルダイヤモンド株式会社
株式会社イニシアテクノロジー技術研究所
株式会社イノフロー
Vero Software
株式会社 栄工舎
株式会社エイト
株式会社エリューションズ
エクスローンインターナショナル株式会社
SCSK株式会社
株式会社SPEEDエンジニアリング
ORレーザージャパン株式会社
オーエスジー株式会社
OKK株式会社
オートデスク株式会社
オートフォームジャパン株式会社
オーフン・マイドテック/ロジーズ・ジャパン株
株式会社カナガブリスト
株式会社岡本工作機械製作所
狄原産業株式会社
カ カーリソル株式会社
一般社団法人大型技術協議会
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
株式会社岩崎機器
山陽特精鋼管株式会社
上海佳模模具有限公司
株式会社データ・デザイン
株式会社ハヤシ
扶桑精工株式会社
株式会社ヒールド技研
株式会社大桐製作所
金型119番
株式会社金型新聞社
株式会社ナック
KALLER

キタムラ機械株式会社
キヤノン電子株式会社
キヤムタス株式会社
倉敷機械株式会社
有限会社クレコム
株式会社クロダ
黒田精工株式会社
業名商事株式会社
KFカーバートジャパン株式会社
株式会社計算力学研究センター
株式会社ゲートジャパン
株式会社ヨーショー
コダマコーポレーション株式会社
埼玉自動車大学校
祭型機械株式会社NEOTEC
株式会社サンアイ精機
株式会社サン工機
三和商工株式会社
株式会社シーアイエム総合研究所
株式会社C&Gシステムズ
GFマンソングルーチョンズ株式会社
株式会社CGTech
株式会社ジーベックテクノロジー
Jクリエイト株式会社
株式会社JSOL
株式会社ジエーピーエム
株式会社塙
株式会社システムクリエイト
株式会社シルバーワイ
シンクリビヨン株式会社
株式会社アリーネ産業
西部電機株式会社
株式会社ゼロジャパン
株式会社セネティック
双和化成株式会社
株式会社ソティック
有限会社曾根田工業
株式会社ソノテック
ソマックス株式会社
ダイジタル工業株式会社
大同特殊鋼株式会社
株式会社タイナテック
太陽物産株式会社
多賀電気株式会社
伊達機械株式会社
中日クラフト株式会社

株式会社ティップス・エビソナー
株式会社テーターデザイン
テクノコート株式会社
株式会社テクノハリューションズ
株式会社電通国際情報サービス
東洋プレス工業株式会社
東芝機械株式会社
東洋研磨株式工業株式会社
トヨエーアイティク株式会社
株式会社トリオエンジニアリング／
株式会社トヨセキニックス
株式会社ナガシテンテグレックス
中日本炉業株式会社
浪速鉄工株式会社
株式会社ナノソフト
株式会社日刊工業新聞社
株式会社日研工作所
日工機器 株式会社
日進工具株式会社
日東商事株式会社
日本アーティフック株式会社
日本ヴィジョンエンジニアリング株式会社
日本紙クリア株式会社
日本金型産業株式会社
日本工業出版株式会社
一般社団法人日本自動車部品工業会
株式会社神戸製作所
三和二郎アベリッグ株式会社
三和ハッキング工業株式会社
東京ガスクルト工業株式会社
株式会社東郷製作所
ファインソーラーパート株式会社
日本スピードヤード株式会社／株式会社ヤマシタワーク
一般社団法人日本鍛造協会
アサヒオーフィス株式会社
株式会社アンティックス
近江鉄工株式会社
株式会社大宮日進
株式会社角田鉄工所
株式会社ゴーシュ
蓄電工具株式会社
タンレイ工業株式会社
ティエフオーブル株式会社
東福銘工株式会社
浪速鉄工株式会社
株式会社ミヤジマ

株式会社日本テクノソリューションズ
独立行政法人日本貿易振興機構(ジェトロ)
株式会社ネクストライエンス
ノジマージン株式会社
ハイウイン株式会社
ハイマージャパン株式会社
白飼株式会社
株式会社日本テクニカル工業
BIG DAISHOWA株式会社
岡岻合金工具株式会社
ファブリック株式会社
ファーロージャパン株式会社
FOOKE Japan 株式会社
福田交易株式会社
株式会社不二越
株式会社不二製作所
富士ダイス株式会社
株式会社 富士通九州システムズ
フジBC技術株式会社
双葉電子工業株式会社
株式会社フライオーディ
ブライア工業株式会社
ブライアース・システムズ・ジャパン株式会社
ブルーム・ノボテクト株式会社
株式会社ボーネルンド
豊富精工株式会社
ボンダッシュジャパン株式会社
マークリーンズ株式会社
マーテック株式会社
マーポス株式会社
株式会社牧野ライス製作所
松山技研株式会社
丸紅情報システムズ株式会社
まんてんプロジェクト
株式会社クリエイティブテクノロジー
新日本ダイヤモンド工業株式会社
鈴幸商事株式会社
スピック株式会社
第一塗装工業株式会社
大同工業機器株式会社
株式会社東光超硬
株式会社トケイ製作所
有限会社野島製作所
株式会社ベリテCAE教育研究所
株式会社明和工場所
株式会社山崎技研

会場レイアウト／東京ビッグサイト(2017年)



ヨシ化工業株式会社
三鶴光器株式会社
有限会社三井刻印
三井精機工業株式会社
株式会社ミツト
三ツ引興業株式会社
三菱重工業機械株式会社
三菱電機株式会社
三菱日立ツール株式会社
株式会社メトロール
株式会社本山合金製作所
安田工業株式会社
株式会社鶴淵と製作所
株式会社ユーロテクノ
ユニテックジャパン株式会社
ヨシカワメタルプロダクツ株式会社
株式会社ルッドリッジティングジャパン
ルンギメタルジャパン株式会社
ロムヘルドハーダー株式会社
碌々産業株式会社
株式会社ロゼッタ

金型展 2017

ア 株式会社エスワイ精機
川島金属株式会社
株式会社J-3D
匠ソリューションズ株式会社
東創技研株式会社
友鉄工業株式会社
一般社団法人 日本金型工業会
アイティ株式会社
有限会社アイティオー
明石プラスチック工業株式会社
株式会社アルファーテック
池上金型工業株式会社
株式会社イケックス工業
株式会社井上製作所
魚岸精機工業株式会社
株式会社打田製作所
株式会社内山精工
株式会社エイ・エム・シイ
株式会社ヒムアイモルデ
有限会社エムテックエンジニアリング
遠州工業株式会社
大久精工株式会社
大久保金型工業株式会社
大森クローム工業株式会社
株式会社岡崎製作所
櫻山金型工業株式会社
株式会社カワマタテクノス
株式会社キメラ
キヤノンモールド株式会社
株式会社協和精機製作所
黒田精工株式会社
株式会社KMC
小林工業株式会社
株式会社サイバーコーポレーション
株式会社渋山金型製作所
株式会社三塚ファインツール
株式会社サン精機
JFE精密株式会社
株式会社シグマ
七宝金型工業株式会社
株式会社猩々テクノ(株式会社nittokuグループ)
聖徳ゼロテック株式会社
株式会社湘南サンライズ工業

株式会社新日本テック
株式会社鈴木
株式会社セントラルファインツール
株式会社タカオ設計事務所
タニー株式会社
株式会社バダイス
株式会社テクノクラーツ
株式会社長津製作所
株式会社長山工業
株式会社ナカラ
株式会社名古屋精密金型
日工工業株式会社
日進精機株式会社
株式会社ニッパツ
野田工業株式会社
橋場鏡工株式会社
株式会社橋本工業
株式会社早川ダット工場
原精密ダイス株式会社
日嶋精型株式会社
福井精工株式会社
株式会社謙工エンジニアリング
株式会社ブタ
扶桑精工株式会社
株式会社ベンヤー精工
メントム工業株式会社
松田金型工業株式会社
株式会社松野金型製作所
株式会社松村精型
株式会社ミズズ
株式会社三井ハイテック
株式会社三不二超硬
株式会社幸
株式会社ムトウ
株式会社明和製作所
山崎工業株式会社
株式会社ヤマカゴーキン
有限会社吉中精工
株式会社リソインシカワ
株式会社ワーカス
若園精機株式会社
株式会社福光工業
株式会社ユーロテクノ

金属プレス加工技術展 2017

ア アイダエンジニアリング株式会社
アクア化学株式会社
株式会社岡野製作所
小川工業株式会社
オリイメンツ株式会社
株式会社クリンピー
株式会社ケー・ブッシュ商会
株式会社サンエイテック
一般社団法人日本金属プレス工業協会
相关産業株式会社
株式会社アディック
能田金属工業株式会社
株式会社大富工業所
株式会社カツナ
カネム工業株式会社
株式会社関西ブリック
株式会社橋生産工業所
株式会社ヨーワーハツ
株式会社阪口製作所
サートプレス工業株式会社
株式会社シミズプレス
宋正工業株式会社

須川工業株式会社
株式会社関プレス
株式会社先端力学シミュレーション研究所
株式会社ソーナガノ
株式会社大喜金属製作所
タイミング株式会社
太陽工業株式会社
株式会社タイヨーアクリス
ダイ精密プロス株式会社
株式会社高井精器
株式会社タケダ
株式会社守方工作所
株式会社豊島製作所
有限公司豊岡製作所
トル精密工業株式会社
新潟三吉工業株式会社
日本フォーミング株式会社
橋本精密工業株式会社
株式会社秦野精密
株式会社ハヤシ
株式会社日立システムズ
ヒルタ工業株式会社
富士工業株式会社
フレーテック株式会社
株式会社プロフィオン
株式会社平安製作所
株式会社ホリコ
株式会社丸武部品
株式会社三雲製作所
株式会社三井三池製作所 精密機器事業本部
ミヤマ精工株式会社
柳下技研株式会社
株式会社山岡製作所
日本メカニカル株式会社
ファインクス株式会社
株式会社深見製作所
ベース
湯川王冠株式会社
横山興業株式会社

asiamold (広州国際金型展)
ATD TECH.
Bluestar Technology (Shenzhen) Co.,Ltd
BURSA INDUSTRIAL SUMMIT
CCPIT MSC & CDMIA
CIXI CITY SHUGUANG STANDARD MOLD COMPONENTS FACTORY
Cixi Guanhaiwei Longhai Mould Factory
Confederation of Chinese MetalForming Industry
Dong Guan CTs Co,Ltd
Dongguan Jiudong industrial Co.,Ltd.
Dongguan Jucheng Mould Co.,Ltd
Dongguan MingYi Mold Parts Co.,Ltd
DONGGUAN QITAI PRECISION PLASTIC HARDWARE CO.,LTD
Dongguan Shuang Shu Precision Mold Co.,Ltd
Dongguan SS JMP Tooling Co.,Ltd
Dongguan Well Automation Precision Equipment Ltd
DONGGUAN WELLIMEI MOLD MFG. CO., LTD
Dongguan Xianggang Mould Plastic Co.,Ltd
Dongguan Youngsun Precision Mold Co.,Ltd
Goldwin Precision Moulds CO., LTD
GUANGDONG XINBIAO ELECTRICAL APPLIANCES HOLDINGS CO.,LTD
GUO WANG METAL (DONGGUAN) CO., LTD
HANKOOK NSD
HEADWAY TRADING CO., LTD.
HONGYU MOULD LIMITED
Jinteng Precision Mold Co., Ltd

KAO SHUO METAL (DONGGUAN) CO., LTD
Korea Die & Mold Industry Cooperative (KODMIC) LTD
BLUENC
DONGNAM KTC CO., LTD.
HOT MOLD ENGINEERING CO., LTD.
IL WOO PRECISION CO., LTD.
Jaewoo Corporation
JCS Mold
JS Korea
JT Solution
Jukwang Precision Co., Ltd
M&N Hi-Tech Co., Ltd.
Manufacturing Innovation Development Corporation
PARTNERS LAB CO., LTD.
PowerTec Co., Ltd
Sangchil Engineering Co.
SINHEUNG PRECISION CO.,LTD
Kunda Mould (Shenzhen) Co., Ltd.
LEKIN MOULD (HK) CO., LTD
MOULDALO WUXIN
Nanjing Baoyan Automation Co.,Ltd
Qingdao Tianhong Precision Machinery Co.,Ltd
Renata Precision Components Pvt Ltd
ROSMOULD 2017
SAICHI PRECISION MOULD CO., LTD.
SAMPCORE
SANPIN MOULD CO., LTD
Shanghai ChuangJin Plastic Mould CO.,LTD
Shanghai Golden-Maker Mold & Plastic Technology Co.,Ltd
Shenzhen Jinxin Precision Technology Co., Ltd
Shenzhen Komeng Precision Mold Co., Ltd
Shinweon S&T
Shiyunjia Industrial Co.,Ltd
SZPEAK PRECISION (WUXI) CO.,LTD
Taizhou Huangyan Xingtai Plastic Mould Co.,Ltd
Trade Link ITE Sdn Bhd
U-LIGHT Mould Technology Co., Ltd
UPS MOLD CO., LIMITED
Wenzhou Lixin Mould Co.,Ltd
Xiamen Golden Egret Special Alloy Co., Ltd
XIANGZHEN MOLD PARTS CO., LTD.
Xiongfeng Special Steel Co.,Ltd
YIKAI MOLD TECHNOLOGY CO., LTD
YOKO INDUSTRIAL CORP.
株式会社イエスレー

エフスタイル
アソラント プレゼンション
エフアード
赫模具有限公司
香港模具有限公司
社团法人韓国金型産業振興会
上海佳合模具有限公司
深圳市美景公司
蘇州華科精密金型有限公司
中國蘇州艾福瑞貿易有限公司
中國大連金型工業公司
東莞市三泰精密金型科技株式會社
東莞市湘南精密模具有限公司
東莞市台達精密金型有限公司
東莞市端品精密模具有限公司
東莞市德路斯精密模具有限公司
東莞品一自動化科技有限公司
和盈五金制品有限公司
吳江翔美金型有限公司
鑫冠精密模具有限公司

開催概要／出展料金／申込方法

開催概要

名 称	金属プレス加工技術展2019
会 期	2019年4月17日(水)～20日(土) 10:00～17:00 ※最終日は16:00まで
会 場	東京ビッグサイト 青海展示棟 (〒135-0064 東京都江東区青海1丁目2番33他)
主 催	一般社団法人日本金属プレス工業協会
運 営	インターモールド振興会(テレビ大阪エクスプロ内)
公 式 サ イ ト	http://intermold.jp
同 時 開 催	INTERMOLD 2019(第30回金型加工技術展)／金型展2019(主催：一般社団法人日本金型工業会)
予想来場者数	50,000人(同時開催展を含む)
入 場 料	1,000円(招待券持参者および事前来場登録者は無料)
協 賛	一般社団法人日本自動車部品工業会、一般社団法人日本鍛造機械工業会、一般社団法人日本金型工業会、一般社団法人型技術協会、一般財団法人素形材センター、一般社団法人日本産業機械工業会、一般社団法人日本ダイカスト協会、日本金属熱処理工業会、一般社団法人日本铸造協会、一般社団法人日本鍛造協会、一般社団法人日本バルブ工業会、日本粉末冶金工業会、一般社団法人日本塑性加工学会、一般社団法人日本機械学会、公益財団法人天田財団、公益財団法人金型技術振興財団(順不同／申請予定)

出展規程

出展料金

種別	Aタイプ	Bタイプ
一般	320,000円 (出展料金)+消費税	390,000円 (出展料金)+消費税
会員	300,000円 (出展料金)+消費税	370,000円 (出展料金)+消費税

※会員価格は一般社団法人日本金属プレス工業協会正会員のみ適用

角小間指定料

50,000円+消費税(1・2小間の申込者のみ対象)

小間仕様

サイズ／間口約3m×奥行約3m×高さ2.7m(約9m²)
単列または複列を選択(複列は4小間以上の出展に限ります)

小間設備内容

Aタイプ(スペースのみ)

小間仕切りのパネルなどは一切装備されません。

Bタイプ(基本装備・設備付き)

ユニット・システムブースによる基本装備に電気設備と備品が装備されます。



Bタイプ
参考例

Bタイプ設備内容(1小間あたり)

- 後壁(パック)、側壁(間仕切り)、パラペット、カーペット
- 社名文字(青色／角ゴシック体／15文字以内)
- 受付カウンター(1台)
- パイプス(1脚)
- スポットライト(2灯)
- 蛍光灯(2灯)
- コンセント(300W／1個)
- 上記電気設備に関する幹線工事費用

※電気使用料金は別途出展者の負担となります。<参考：前回開催時電気使用料：1kwあたり2,000円(税別)>

※社名板、受付カウンター、パイプスは小間数にかかわらず1台(脚)のみ装備されます。

※角小間の場合は通路に面する側壁は設置されません。

申込方法

1 下記「出展申込みサイト」より出展規程をご了承の上、お申込みください。
<https://www.intermold.jp/application/>

なお、初めて出展する場合は、会社案内および出展製品のカタログを必ず提出してください。

[出展申込みは、インターネットを通しての申込みとなります。](#)

[インターネット環境をお持ちでない場合は、事務局までお問い合わせください。](#)

(重要)重量物展示、および展示内容制限に関して

青海展示棟の規定により重量物を設置できない箇所があります。

重量物を展示予定の場合は、申込の際に必ず「予定あり」とチェックをして下さい。

また、展示会場での「危険物品の持ち込み数量制限」により、加工油剤(切削・放電など)などを含む危険物・可燃性固体・液体類の展示、放電加工機または工作機械内蔵油の展示などに制限が設けられる場合がございます。

出展を予定される場合は必ずこちらのチェックをお願いいたします。

2 出展申込みサイトで主な出展規程を確認いただけますので、内容を確認・ご承諾のうえ、お申し込みください。また、出展申込書を郵送される場合は、必ず控えを出展者にて保管してください。

3 出展内容が本展開催趣旨・目的に沿わない場合は、出展受付を保留またはお断りすることがありますのでご了承ください。

詳細は事務局までお問い合わせください。

4 出展申込数は1小間を単位とします。2小間以上の小間を申し込む場合、AタイプとBタイプを混在して申し込むことはできません。

5 申込出展者以外に共同出展する企業を表記する場合は、出展申込み後にご案内する「出展者専用ページ(Web)」にて共同出展者名をご登録ください。

申込締切日

2018年12月21日(金)

※ただし、満小間になり次第締切となります。

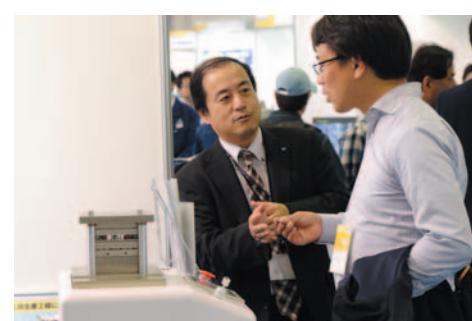
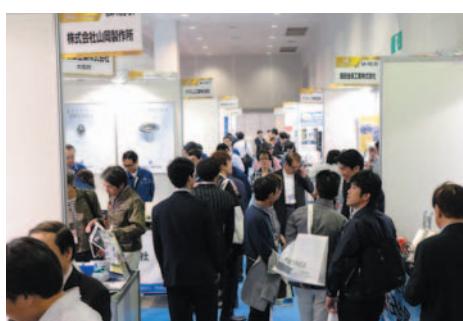
支払期日

請求書発行日の翌月末

○出展申込手続き完了後、事務局が受理し、請求書を発行いたします。

○出展申込手続き完了後、事務局受理日以降の出展申込の取消は出来ません。

※事務局からの請求により、出展料金全額を指定の銀行口座にお振込みいただきます。



テクニカル・ワークショップ オープンセミナー開催のご案内

プレゼンテーションセミナー(有料)

出展者の展示効果を高めるために、「出展者による新技術発表」「新製品PR」「ユーザーによる製品活用事例の紹介」など、様々な用途に応じて活用できるセミナースペース(有料)を設置します。開講を予定もしくは検討される出展者は、出展申込の際にセミナー開講希望欄にご記入ください。

なお、開講希望の出展者には、改めて開講申込書をご提出いただきます。



テクニカル・ワークショップ

事前登録制、クローズド、オープン形式など、出展者が目的に応じて運営できるプレゼンテーションセミナーです。

製品・技術のPRセミナーとしてだけではなく、「ユーザー会」「新製品発表会」のほか、有料セミナー会場として利用することができます。



オープンセミナー

展示ホール内に、オープン形式のセミナー会場を設けます。来場者は展示ブースを移動する間に、興味のあるセミナーを自由に聴講できます。新規顧客に対して、新製品・新技術のPRが可能となり、自社ブースへ誘導するチャンスにもなりますので、展示との相乗効果に期待できます。

会場 東京ビッグサイト 会議室または会場内特設会場

定員 50~100名程度 ※スクール形式

開講料 1時間／60,000円(税別)

※プログラムは、事務局にて調整します。

会場 東京ビッグサイト 展示場内特設会場

定員 約30名 (座席設置数。但し、立ち見も可能です)

開講料 45分／50,000円(税別)

時間延長は出来ません。

※複数のセッションを開講することも可能です。(複数開講値引き有り)

※プログラムは、事務局にて調整します。

テクニカル・ワークショップ 前回開講実績

大昭和精機株式会社

『5軸加工機および複合加工機におけるツーリングを考える』
営業技術部 次長 高見 隆文 氏

オーエスジー株式会社

『金型加工のイノベーション』
デザインセンター加工技術グループ 課長 今泉 悅史 氏
株式会社金型コンサル 会長 左甲斐 武久 氏

ユニオンツール株式会社

『難加工を可能にするエンドミルシリーズのご紹介』
技術本部 工具技術部 エンドミル工具開発課 課長 大崎 英樹 氏

ダイジェット工業株式会社

『難削材・お待ちしております。』
技術部技術室切削工具開発課 津曲 達也 氏

株式会社C&Gシステムズ

『工程管理システム「AIQ Ver11.1」新バージョンのご紹介』
CAD開発部 工程管理開発課 課長 田代 勝法 氏

◆株式会社セイロジャパン

『3次元樹脂流動解析による最新の成形技術への適用』
MoldexソリューションセンターMoldex課 課長 田中 久博 氏

『横円振動切削による磨きレス鏡面加工
～Cimatronを使ったホール加工～のご紹介』
CimatronSC SEチーム 村田 浩一 氏

『金属3Dプリンタ向けソフトウェア 3DXpertを使用し
Additive Manufacturingを製造で活用していきます。』
CimatronSC 部長 池澤 傲文 氏

◆ブルーム・ノボテスト株式会社 (小間番号 6A-621)
『加工・計測の複合化と機上自由曲面計測』
技術・サービス マネージャー 高坂 斎 氏

株式会社アマダマシングル

『高生産性・自動化に対応する研削加工機能と加工事例の紹介』
研削技術部 研削実証加工GR グループリーダー 三谷 知範 氏

『ハルスモーションを活用したヘリカルギアの冷間鍛造新工法開発』
プレス商品部 プレス販売技術GR メンバー 山本 一 氏

三菱電機株式会社

『ものづくり現場で活躍する超高精度ワイヤ放電加工機「MP D-CUBESシリーズ」/最新技術を搭載した新型次世代形放電加工機』
放電製造部 開発設計第一課・第二課

株式会社東京精密

『最新の三次元測定技術による射出成型品の生産効率化、及び、高精度かつ非接触測定技術のご紹介』
計測社 営業技術室 佐保 智英 氏 他

株式会社牧野フライス製作所

『Professional 6 オペレータを時間のかかる作業から解放する』

オープンセミナー 前回開講実績

三菱日立ツール株式会社

『金型加工の更なる高精度・高能率化を実現する最新切削工具』
グローバルソリューションセンター 主任技師 城戸 好信 氏

株式会社ナノソフト

『3DQuickPressと3DSimSTAMPで変えるプレス金型設計』
大町 勝一郎 氏

株式会社JSOL

『板金プレス・鍛造シミュレーションの活用術と事例紹介 (JSTAMP,AFDEX)』
エンジニアリングビジネス事業部 杉友 宣彦 氏

オーエスジー株式会社

『ねじ切り最新工具 ワンレボリューションスレッドミル AT-1の紹介』
開発グループ 穴開け開発チーム 依田 智紀 氏

株式会社ユーロテクノ

『アリコナ社製非接触三次元測定機を用いた革新的な工具測定』
営業チーム 泉 幸治 氏

『金型におけるガイド部品の重要性と部品選択のポイント』
営業チーム 主任 中道 浩貴 氏

コダマコーポレーション株式会社

『最新CAD/CAM活用セミナー』
『TOPprogressによるプレス金型設計・製作の効率化事例』
小金 佑介 氏

JFE精密株式会社

『JFE精密のPVDコーティング』
技術部 部長 桜井 雅彦 氏

日工機材株式会社

『～ジエイコ～加工段差ゼロの実現』
営業部 係長 平 信行 氏

株式会社SCREENホールディングス

『目視検査を自動化する』
『車載用金属部品向け外観検査装置 IM-3200・IM-5100』
の紹介】

検査・計測事業室 営業・マーケティング課 杉本 氏 他数名

株式会社データ・デザイン

『3Dアディティブの次なるステージへ』
セールスユニット企画G マネージャー 今田 智秀 氏

柳下技研株式会社

『ELID研削法の平面研削盤への適用について』
YGテクニカルセンター ELID研削技師 一瀬 哲也 氏

株式会社テクノクラーク

『次世代アンダーカット成形ユニット“すっぽん”』
代表取締役 反本 正典 氏

ダイジェット工業株式会社

『高能率切削加工を実現する最新切削工具』
技術部 室長 行成 伸二 氏

パルスティック工業株式会社

『残留応力測定装置の原理と測定事例』
営業部 営業1課 主任 増井 貴氏

南海銅材株式会社

『金型・治工具への高硬度耐熱パウダーの自動内盛り』
PPW製品開発室 山崎 貴司 氏

ペントム工業株式会社

『現場の実情に合った工程管理』
シンクビジョン株式会社 ソリューション事業部 マネージャー 地曳 淳 氏

主な出展規程

1. 出展料金の請求と支払い

事務局が出展申込書の記載事項を確認の後、出展者に出展料金の請求書を送付します。出展者は、請求書記載の期日までに出展料金全額を事務局指定の口座へ振込むものとします（お支払いは銀行振込みで、手形・小切手・直接現金でのお支払いは受け付けておりません）。なお、出展料金を含め本展示会に関する全ての請求についての振込手数料は出展者が負担するものとします。

2. 出展申込みの受理、成立期日について

出展者が事務局の定める手続きを行い、その出展申込書(申込みシステムの利用、出展申込書の郵送、ファックス、eメールなど)を事務局が受領した時点で申込成立とします。ただし、出展内容が展示会趣旨にそぐわない場合や出展資格を有しないと事務局が判断した場合は出展をお断りする場合があります。

3. 出展申込の取消（キャンセル）

(1)出展申込の取消または申込内容の変更は原則として認めませんが、やむなく出展の取消もしくは申込内容の変更（出展小間数の一部キャンセルなど）を行う場合には、その理由を明記した文書を事務局に提出し、承諾を得て下さい。

(2)やむなく出展の取消もしくは申込内容の変更を行う場合には、その時期に応じて下記の出展取消料をお支払い下さい。なお、下表は事務局が出展者からの取消・変更通知書面を受領した日を基準とします。

書面による取消・変更通知を受領した日	出展取消料
出展申込日～2018年12月21日	出展料金の 10%
2018年12月22日～2019年1月7日	出展料金の 50%
2019年1月8日～2019年1月31日	出展料金の 75%
2019年2月1日以降	出展料金の100%

(3)出展者が上記相当金額を支払っていないときは、取消通知後、直ちに支払うものとします。出展者が既に支払った金額が上記相当金額を超過している場合は、超過分を事務局より返金します。この場合、振込手数料は出展者の負担とします。

(4)事務局は、次に該当する場合、出展者に対し、何らの予告無しに出展を取消すことができ、また、出展料金全額をお支払いいただきます。この場合、事務局は当該場所を適切な方法で使用することができるものとします。

- ①2019年1月31日(木)までに出展料金を完納しない場合
- ②事前申告なしに搬入日の2019年4月16日12時までに小間の使用を開始しない場合
- ③出展規程および関連規程に記載の事項に違反し、事務局の催告によっても改善が認められない場合

4. 小間位置の決定

(1)小間の位置は、出展物の内容、申込順位、出展実績、会場全般の構成、実演の有無などを考慮して事務局が行い、後日通知します（予定）。出展者は小間の割当について、苦情や出展取消等を申し出ることはできません。

(2)主催者は、消防法令上または出展者の展示効果向上のために小間図面を変更し、それに伴い小間を再配置することができます。その際、出展者は小間位置変更に関する損害賠償請求はできないものとします。

会期 2019年4月17日(水)～20日(土)

会場 東京ビッグサイト 青海展示棟

5. 小間の転貸の禁止

出展者は、割り当てられた小間の全部または一部を第三者に譲渡・貸与もしくは出展者相互において交換することはできません。

6. 共同出展者の取り扱い

2社以上の会社が共同出展をする場合は、原則として1社が代表して申し込むものとし、出展料金などの各請求をはじめとする事務局からの全ての連絡は、申込者の実務担当者へののみ通知するものとします。なお、共同出展する社名などを申込時に事務局へ通知するものとします。

7. 出展物および展示装飾・実演に関する規制と撤去・搬出

(1)小間内の出展物および装飾物等が、後日事務局より通知される期間内に撤去・搬出されない場合は、出展者の費用負担で、事務局により撤去・搬出できるものとします。

(2)展示ブース内の実演において、本展示会に出展していない企業の機械・製品を使用することは禁止いたします。

(3)いかなる方法でも、近隣の小間の妨げとなる小間の造作はできないものとし、近隣小間の出展者から苦情がでた場合、事務局が展示会運営上の立場から判断し、小間装飾などの変更が必要と判断した場合は、当該小間の出展者はその変更に同意するものとします。この場合に発生する費用は、出展者の負担とします。

(4)事務局は展示会開催趣旨・目的などの観点から問題があると思われる出展物の展示や装飾に関して規制または撤去する権限を有するものとします。この場合、事務局は出展者に対して輸送・展示費用などの負担や出展料金などの返金について一切の責任を負わないものとします。

8. 出展物の管理と免責

主催者は、出展物の管理・保全について警備員を配置するなど会場全般の管理・保全にあたりますが、出展物への天災、不可抗力、盗難、紛失などあらゆる原因により生じる出展物への損失または損害についてその責任を負わないものとします。出展物、備品の管理は出展者の責任の下、万全を期して行って下さい。

9. 損害賠償

出展者は、出展者自身または出展者指定の業者などの代理人の不注意、その他の理由により、展示会場設備または展示会建造物もしくは人身などに対して与えた一切の損害について責任を負うものとします。出展者は保険へ加入するなど、十分な対策を講じて下さい。

10. 展示会開催の変更・中止

(1)主催者は、天災、その他の不可抗力により会期・会場を変更、展示規模の縮小、または開催を中止することができます。主催者は、これによって生じた損害の補償や費用の増加、その他不利な事態に陥るなどに対する責任を負わないものとします。なお、展示会開催を事前に中止した時は、既納出展料金より既発生の費用を控除した残額の一部を返金します。

(2)出展申込みは、変更された会期等について有効とし、会期変更などを理由として出展を取消すことはできません。

11. 規程の遵守

出展者は本出展規程をはじめとする主催者が定める諸規程を遵守することに同意のうえ出展申込みをするものとし、この点において将来いかなる時点においても一切の異議を申し立てないこととします。出展者は主催者が定める全ての規程を本展および出展者の利益保護のためのものと解釈し、その実行に協力するものとします。

インターモールド振興会

〒540-0008 大阪市中央区大手前1-2-15 (株) テレビ大阪エクスプロ内
TEL : 06-6944-9911 FAX : 06-6944-9912
E-mail : infoim2019@tvoe.co.jp

お問い合わせ